

説明的文章

チェック

氏名

年

組

番

ID:

5問

▼次の文章を読んであとの問いに答えなさい。

日本語で文章を書くときには、漢字、ひらがな、カタカナという三種類の文字を組み合わせて使います。これは、^①日本語の大きな特ちょうの一つです。日本語以外の言語では、そんなにたくさん種類の文字は使いません。A、英語では、アルファベットという種類の文字だけを使って文章を作ります。B、中国語では漢字だけを使っています。それなのに、日本語には三種類も文字があるのです。なぜ、そうだったのでしょう。

日本人が初めて使った文字は、漢字でした。漢字は、中国で作られた文字です。日本は、大昔の古墳時代に、その漢字を受け入れて、自分たちも使うようになったのです。

その後、平安時代の初めに、漢字をもとにして、^②ひらがなが作られました。漢字をくずして書く草書体という字体を、さらにくずしてできたのが、ひらがなです。例えば、「安」という漢字から、ひらがなの「あ」ができたのです。

ひらがなが作られたのと同じころ、^③カタカナも作られました。カタカナは、漢字の一部分だけを取り出して作られたものです。例えば、「多」という漢字の左上の部分だけを取り出して、「タ」というカタカナができたのです。

問1 — 線①「日本語の大きな特ちょう」は、どんなことですか。次のにあてはまることを文中から書きぬきなさい。

- ・文章を書くとき、漢字、ひらがな、カタカナという

を組み合わせて使うこと。

問2 A・Bにあてはまることばとしてもよいものを次のア〜エから選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ア また イ だから
- ウ しかし エ 例えば

A	B
---	---

問3 — 線②「ひらがな」は、どのように作られましたか。次のにあてはまることばを文中から書きぬきなさい。

- ・漢字をくずして書く草書体という字体を、さらに

作られた。

問4 — 線③「カタカナ」は、どのように作られましたか。次のにあてはまることばを文中から書きぬきなさい。

- ・漢字の

だけを取り出して作られた。

説明的文章

チェックプラス

氏名

年

組

番

ID:

5問

▼次の文章を読んであとの問いに答えなさい。

「ゴキブリ」と聞くと、みなさんはどんな気持ちになりますか。「きらい」「こわい」「気持ち悪い」「きたない」——そんなふうに思う人が多いかもしれません。けれども、ゴキブリをバカにしてはいけません。

ゴキブリは、地球に生きる動物としては、人間の祖先は大先ばいなのです。ゴキブリは三億年以上も昔から、今とほとんど変わらないすがたで、生き続けてきました。よくシーラカンスという魚が「生きた化石」とよばれますが、ゴキブリもまたまちがいに「生きた化石」なのです。

「にんじゃ」は今でも大人気です。ゴキブリは、このにんじゃに似ています。第一に、とても足が速いこと。ゴキブリは一秒間に五〇センチも走ります。これはカブト虫の一〇倍の速さです。第二に、ゴキブリは真つすぐなかべをよじ登ったり、天井のようにさかさまに止まったりすることもできます。これは、ゴキブリの足に特別な仕組みがあるから可能なのです。第三に、自分の体の厚さよりせまい場所にしのびこむことができます。こんなことができるのは、体がすすべした油におおわれていて、しかもだん力性があるからです。

問1 —— 線①「ゴキブリもまたまちがいに『生きた化石』なのです」とありますが、なぜですか。次の□□にあてはまることばを文中から書きぬきなさい。

以上も昔から、今と変わらないすがたで生き続けてきたから。

問2 —— 線②「ゴキブリは、このにんじゃに似ています」とありますが、似ているところは、いくつ挙げられていますか。次のア～エから選び、記号で答えなさい。

- ア 一つ
- イ 二つ
- ウ 三つ
- エ 四つ

--

問3 —— 線③「ゴキブリは真つすぐなかべをよじ登ったり、天井のようにさかさまに止まったりすることもできます」とありますが、なぜですか。次の□□にあてはまることばを文中から書きぬきなさい。

・ゴキブリの足に

 があるから。

問4 —— 線④「自分の体の厚さよりせまい場所にしのびこむことができます」とありますが、そんなことができる理由となるゴキブリの体の特ちょうを、二つ書きなさい。

・体が

 という特ちょう。

・体に

 という特ちょう。

